

令和2年度  
市民活動支援事業

成果報告書

## はじめに

「霧島市市民活動支援事業」は、「共生・協働のまちづくり」の一環として、市民活動団体が行う公益的・公共的な活動に対して経費の一部を補助することにより、市民活動を促進するものであり、これまでに延べ140団体が活用、令和2年度は7団体がこの制度を活用し、様々な活動に取り組みました。

この「令和2年度霧島市市民活動支援事業成果報告書」は、事業の活動内容や成果等を広く知っていただくとともに、今後の市民活動の参考としていただくことにより、「共生・協働によるまちづくり」が本市全体に更に広がることを期待して取りまとめたものである。

### 〈 参 考 〉 令和2年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳

#### 【選考審査の結果】

区 分	応 募	採 択	※実 施
団 体 数	15 団体	14 団体	7 団体
NPO 法 人	4 団体	3 団体	2 団体
その他の団体	11 団体	11 団体	5 団体
事 業 数	15 事業	14 事業	7 事業

※新型コロナウイルス感染症の影響により、7 団体 7 事業が事業の中止を行う。

7 団体 7 事業が実施。

#### 【分野別内訳】

分 野 別	応 募	採 択	実 施
保健・医療・福祉	4	3	1
まちづくり	6	6	2
学術・文化・芸術・スポーツ	3	3	2
経済活動の活性化	0	0	0
環境保全	0	0	0
子どもの健全育成	1	1	1
農山漁村振興	1	1	1
合 計	15	14	7

# 目 次

(団 体 名)	(ページ)
1 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会	1～ 2
2 特定非営利活動法人北斗会	3～ 4
3 Awesome City Project	5～ 6
4 NPO法人きりしま創造舞台	7～ 8
5 きりしまみぞベル	9～10
6 WALK INN FES!2020in 霧島実行委員会	11～12
7 アイラブ故郷八村 (アイラブフルサトヤムラ)	13～14

**＜ 参 考 ＞ 各団体の補助額等について**

目次 番号	事業名	事業費	補助額
1	牧園に残る西南戦争堡塁跡調査・保存事業(その3)	334,534 円	124,000 円
2	福祉・医療施設内コンサート事業	690,066 円	395,000 円
3	霧島リットアッププレイス	838,009 円	500,000 円
4	ミュージカル広場	513,968 円	308,000 円
5	SDGs 推進による持続可能な地域コミュニティづくり事業	937,467 円	400,000 円
6	New style WILK INN FES ! 2020 in 霧島	785,000 円	392,000 円
7	故郷八村 (フルサトヤムラ) 活性化事業	243,168 円	98,000 円
合 計		4,342,212 円	2,217,000 円

# 牧園に残る西南戦争堡塁跡調査・保存事業(その3)

＜史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会＞

事業費：334,534円 市補助金：124,000円

## 目的 (背景・課題)

- ① 牧園に残る西南戦争時の堡塁の実態を調査して、地図に表示する。
- ② ①及び牧園の人々と西南戦争との係わり等を記した冊子を作成し、市民の生涯教育や観光振興等に活用する。
- ③ 堡塁跡を広域文化遺産として後世に残すように広報活動する。

## 事業内容

- ① 堡塁跡の实地調査
- ② 冊子の作成  
「西南戦争 歴史を体感できる牧園の堡塁郡」作成
- ③ 堡塁跡の見学会(未実施)
- ④ 牧園地区の小学校、中学校、高等学校、図書館への冊子の贈呈、作成した冊子を順次贈呈
- ⑤ 堡塁及び堡塁周辺の樹木伐採整備

## 事業の成果

牧園小学校教員に説明会を開催し、社会教育の手助けをすることができた。

活動成果を記載した冊子を作成し配布することにより史跡の記録を確実に残すことが出来ている。

共同作業をすることで会員の親睦が深まり、地域住民の新たな連帯意識を創造することができた。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
なかった。
- 3 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
- 4 今後の展望  
今年度はコロナウィルス対策で見学会の開催が出来なかった。会員の努力により**堡塁の新たな発見があった**。堡塁調査を継続しつつ、新年度は牧園の麓と山城に関する調査研究及び牧園歴史講座の開催等に活動分野を広げて行きたい。
- 5 その他  
特になし。

明治10年(1877年)

## 西南戦争

(中津川周辺の戦いの痕跡調査書)



報告日 2021年3月  
報告者 霧島市牧園町上中津川橋源  
飯田月男



Vol.1 2021年(令和3年) 巻号(創刊号) 発行責任者 飯富神社 役員会

## 鎮守の森 飯富神社だより

発行にあたって

飯富神社が建立されたのは901年から963年(醍醐一統和年間)と云われ約1,000年近くの古い歴史を有する県内屈指の古社です。

当時の日本は平安時代。901年には、菅原道真が大宰府に左遷。905年には「古今和歌集」が醍醐天皇の命で編纂。935年頃には紀貫之が「土佐日記」を著しています。また平将門が藤原と自衛し公然と朝廷に反抗。地方政治が乱れ武士団が発生したと云われています。目を海外に転ずると、お隣中国では907年に「唐」が滅び、960年に「宋」が起こっています。欧州では、962年「神聖ローマ帝国」が成立しています。

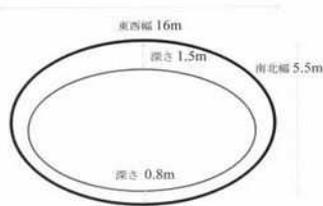
このような古い歴史を誇る飯富神社は、地域民の心の拠り所として親しまれ、特に、お節もど教團9区自治会5集落では、毎月1回の清掃作業を昔から半派を問わず集落民総出で実施し今日にいたっています。ここ数年、神社の役員体制も大幅に若返りました。これをきっかけに神社を含む「飯富の森」周辺をより良く整備し、後世に引き継ぎ、地域民により一層親しまれるよう神社の行事や神社にまつわる出来事等を年4回程度(春・夏・秋・冬)紹介していきたいと考えています。

1月 1日	0:00	歳旦祭	竹灯籠点灯
1月 11日	11:00	月次祭	
2月 11日	11:00	月次祭	
3月 20日	11:00	春分祭	稲造織り
4月 11日	11:00	月次祭	
5月 11日	11:00	月次祭	
6月 11日	11:00	月次祭	
7月 29日	11:00	夏越祭	
8月 11日	11:00	月次祭	
9月 23日	11:00	秋分祭	
10月 11日	11:00	月次祭	
		神社関係者大会	
11月 23日	11:00	新嘗祭・総代会	
12月 11日	11:00	月次祭・しめ縄制作	

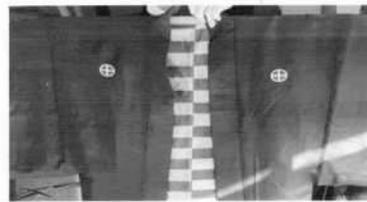
宮 司	権原 慎介
地元代表役員	西 武吉
役員	橋元 仁志
〃	湯前 康水
〃	木瀬 正行
〃	香田 良彦

16年の長きにわたり、飯富神社地元代表役員として神社の管理運営にご尽力された権原慎介の太田孝雄様がご逝去。御冥途されました。長年の御伯顔に對し敬意を表するとともに今後のご奉事を御祈り申し上げます。

上中津川横瀬(通山)の壘壘  
(弾薬・食料の貯蔵用)



薩軍の遺留品(絹の羽織)



戦死者の埋葬地附近



### 団体情報

<団体名> 史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会  
 <代表者> 手嶋 正次  
 <設立日> 平成26年2月27日  
 <会員数> 16人  
 <主な活動>  
 史跡・文化財の見学会、景観モデルロード沿道や空き地の美化活動など  
 <連絡先>  
 所在地 〒899-6507 霧島市牧園町宿窪田642番地4  
 TEL 0995-45-0313

# 福祉・医療施設内コンサート事業

<特定非営利活動法人 北斗会>

事業費 690,066円 市補助金：395,000円

## 目的（背景・課題）

地域社会には、色々な障がいを持つ方々が少なくないが、健常者と障がい者が相互理解を深める機会やその前に、出会う機会さえも無いのが現状である。そんな現状を少しでも改善するため、障がい者との相互理解を進め、心のバリアフリー化を促進する手段として、日頃から当法人の活動に取り入れている、音楽を活用し、地域社会に関わりを持つことで、障がい者の社会参加も促進していく。

## 事業内容

### 【概要】

事業所のフリースペースで障害者や高齢者に、月1回、講師を招き楽器（ウクレレ、マンドリン等）の実技講習会を開催。その成果を医療・福祉施設等で年2回コンサートとして実施し披露する。

8月9日、12月20日：模擬コンサート

12月23日：吉満内科クリニックにて開催

12月24日：清水内科医院にて開催

## 事業の成果

- 1、楽器演奏講習会に参加した障害者達も、日毎に練習の成果が表われ上達した。
- 2、障害者自身も創意工夫をしながら演奏を楽しんでいた。例）カホンは座って手で叩くが松葉杖で良い音を鳴らしていた。
- 3、日頃接点のない健常者との間に楽器を通し心を開き、コンサートに向けて向上したいという心が芽生え、コミュニケーション能力が高まり、相互理解が進んだ。
- 4、コロナ禍の中、コンサートの実施が危ぶまれたが、昨年度実施した病院と協議を重ね、医療従事者の慰労コンサートを実施できた。
- 5、本事業の当初の目的であった入院患者を対象とした事業が実施できた。患者の中には知っている曲が流れると口ずさんだり、涙ぐんでいる方も居た。入院患者と相互理解が深まり、心のバリアフリー化が進んだ。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待した効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
新型コロナ禍の影響で実施場所の限定が困難だったが、しっかりとした感染対策を取り、医療・福祉従事者、入院患者を対象とした活動に限定することで、実施可能となった。
- 3 予算執行  
ほぼ予定どおり執行できた。
- 4 今後の展開  
2年間継続した医療施設での事業は、今後も引き続き活動していく事とし、今後は交流の対象を拡大し、地域住民に障害者と健常者の相互理解を深める活動を推進し、促進を図りたい。
- 5 その他  
今年度、「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部大臣表彰を受賞しました。当法人の活動が認められた事は大変名誉な事で、この事業に関わった全ての方々に感謝致します。  
また、障害者の方へ自信と勇気を与え、素晴らしい達成感を与えられた事も感謝します。

令和2年度 霧島市市民活動支援事業

第3回

# 病院内音楽コンサート

～コロナに負けるな！！霧島市！！～

## 12月23日(水)

**開催場所**

**吉満内科クリニック** PM12:15～40分コンサート

**清水内科** PM 1:30～40分コンサート

《演奏者》 ★ギター演奏・谷口久巳先生  
 ★マンドリン演奏・アマービレの皆さん  
 ★北斗会OHANAのメンバーさん

《ラインナップ》 ♪ジングルベル ♪大阪ラフソティー  
 ♪鐘の鳴る丘 ♪他

【主催】  
 特定非営利活動法人 北斗会  
 【後援】  
 霧島市市民環境部市民活動推進課  
 【お問い合わせ先】  
 住所：鹿児島県霧島市国分中央1丁目14-4  
 TEL 0995-50-3236  
 FAX 0995-50-3075

谷口久巳先生  
 霧島マンドリンアマービレ

「練習の様子」



第1回病院内コンサート  
2020年12月23日「吉満内科クリニックにて」



第2回病院内コンサート  
2020年12月23日「清水内科にて」



### 団体情報

<団体名> 特定非営利活動法人北斗会  
 <代表者> 高野 和子  
 <設立日> 平成29年9月13日  
 <会員数> 10人  
 <主な活動>  
 障がいのある多くの方々に対して、自分の住み慣れた地域で安心して、いきいきとした生活が送れるよう、地域社会の理解と協力を得ながら、障害者総合支援法に基づくサービスを行うと共に、障がい者の家族、施設職員等の支える側の人々によりあいの場を提供することにより福祉と公益の増進に寄与することを目的とした活動を行っている。

<連絡先>  
 所在地 〒899-4304 霧島市国分清水3-14-55  
 TEL 0995-50-3236

# 霧島リットアッププレイス

<Awesome City Project>

事業費：838,009円 市補助金：500,000円

## 目的（背景・課題）

産業の疲弊、遊休ストックの増大、商業の衰退、コミュニティの崩壊、民間（市民企業）自立心の欠如など地域社会が抱えている複雑化する課題を解決するためのヒントを導き出すため、霧島の資源（ヒト・モノ・コト）に光を当て、より多くの方々が関わる持続可能なイベントを開催することより、「霧島は贅沢だ」と市内外の方々に感じてもらうことを目的とする。

5月3日に第6回ガーデンプレイスを開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染症により中止となった。しかしながら、感染拡大防止対策を徹底しながら、社会経済活動を推進する必要があることを踏まえ、まちなかの商業施設と連携した事業として実施する。

## 事業内容

日時：11月から2月までの第3土曜日  
11時から21時  
場所：きりしま国分山形屋  
対象者：まちなかに暮らし、楽しいつながりを求める方  
内容

まちなかの商業施設とタイアップし、歩いて楽しい居心地の良い都市空間を演出するため、テイクアウトを中心とした小規模のポップアップマルシェを開催する。

## 事業の成果

■開催回数 4回

■出展者数 延べ27店舗

新型コロナウイルス感染症により霧島ガーデンプレイスといった大規模なイベント開催が難しくなる中、社会経済活動を推進する必要があることから、密にならない対策を講じながら、Litup!というまちなかの新たな日常や新しいコミュニティを構築するイベントが定期的で開催できたことは非常に大きな一歩であった。

特に、まちなかの商業施設と一緒に事業が出来たこと、霧島リノベーションまちづくり実行協議会が貸し出す屋台スタンドを活用できたことは、民間主導・公民連携の下、歩いて楽しいまちなかを創る上で、非常に大きな一歩である。来場者からの反応も良く「この取組みは中心市街地の活性化にとって今後ジャブのように効いてくるので今後も継続して欲しい」との意見も頂き、一朝一夕ではなく回数を重ねる毎に、変化が訪れ、まちの期待値を上げるイベントとして、今後も継続したいと考える。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

感染症対策で混雑を避けるため、広報周知を思うようにすることが出来なかった。看板等の費用を捻出できず、車通りの多いところにも関わらず、イベントの趣旨や内容について広く浸透する事が出来なかった。次年度は感染拡大対策を施しながら、多くの来場者が安心してイベントを楽しめるよう霧島ガーデンプレイスと合わせて継続して行きたい。

### 3 予算執行

ほぼ予算どおり執行できた。

### 4 今後の展望

今後も継続的に開催していく。

### 5 その他

特になし。



## 団体情報

<団体名> Awesome City Project

<代表者> 宮之原 優聖

<設立日> 平成28年11月1日

<会員数> 6人

<主な活動>

- ①市で行われるイベントのボランティアスタッフとして参加する。
- ②まちおこしのための各種セミナーに参加する。
- ③市を盛り上げる為のイベントを企画・運営する。

<連絡先>

所在地 〒899-4343 霧島市隼人町内山田三丁目1番23-3号  
TEL 090-7151-1562

# ミュージカル広場

<NPO法人きりしま創造舞台>

事業費：513,968円 市補助金：308,000円

## 目的（背景・課題）

これまで、きりしま創造舞台は、青少年の健全育成を目的に小学生から高齢者までの異年齢集団同志の交流を図りながら「命の継承」と「誇れる郷土」をテーマに市民による手作りのミュージカル公演を実施してきた。

しかしながら、まだまだミュージカルなどの舞台芸術を広く知らしめるには至っていない。豊かな心の育成と芸術文化の向上のためには舞台を実際に体験することが必要であります。本市においては、身近にミュージカルなどの舞台芸術に触れ合える機会が少ないことが課題である。

## 事業内容

○ワークショップの開催

一人でも多くの市民の皆さんに、ミュージカルや舞台の楽しさや素晴らしさを伝え、また、小学生から高齢者までともに学び、体験する場を提供する。

プロの舞台芸術家やバレエ、ダンサー、音楽家を講師に月2回ワークショップを開催。受講初日に台本を渡し、最終日には音響、照明をセッティングし発表会を実施。

令和2年8・9月 参加者募集

10月～2月まで月1.2回実施

2月26日発表会

参加人数 22人(小学2年生～70歳代)

小学生 11人 中学生 8人 高校生 1人

一般 2人

## 事業の成果

参加者は小学2年生から70代までと幅広い年代が参加。

実技の体験ではなく、最終日に音響、照明を仕込んでの発表会をすることで、より舞台の素晴らしさ、自分を表現することの楽しさを感じることが出来たと思う。

参加者からは「ミュージカルは楽しい。友だちもたくさん出来た。」「衣装を着ての本番はとてうれしかった。すごく力が出た。」「お兄さんやお姉さんから演技、ダンスを丁寧に教えてもらった。」

保護者からは「人前で表現することが苦手な子供がミュージカル広場に行きたいと

言ってきたけど、本当に大丈夫だろうかと思っていたが、最後の発表会を見て感動した。」との感想が聞かれた。ワークショップを開催したことで、身近にミュージカルなどの舞台芸術に直接触れる機会を提供でき、市の文化芸術活動の向上につなげることが出来た。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

新聞、テレビなどによる取材依頼を行い、多くの人に知ってもらう必要がある。マスコミだけではなく、Facebookでやツイッター、ユーチューブ等による実施プログラム内容の発信を積極的にすべきである。

子供たちの参加は多いが一般成人の参加が少ないので、もっと、幅広い年代に参加していただけるような工夫が必要だ。

### 3 予算執行

大きな変更を余儀なくされた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、密を避けるために定員を半分にすることで収入減となったため予算変更をせざるを得なかった。

### 4 今後の展望

今回が3回目(市民活動支援事業では2回)となるミュージカル広場であったが、体験した市民はごくわずかな人数である。市民のニーズは多いと思われるので、今後も継続して事業を実施していきたい。

### 5 その他

参加者の中には令和3年8月に公演する市民参加型ミュージカルに参加したいという者が多数おり、ミュージカルの楽しさを伝えることができた。また、子ども達がミュージカル体験をすることで成長し、保護者がそれを目の当たりにし、感動している姿に我々自身も改めてこの活動の大切さを知る機会となった。



# SDGs推進による持続可能な地域コミュニティづくり事業

<きりしまみぞベル>

事業費：937,467円 市補助金：400,000円

## 目的（背景・課題）

人口減少が引き起こす負の連鎖、それは「経済衰退」「生活困難」「孤立無援化」「教育水準低下」「環境破壊」などの地域課題であり、それらの課題は根底で繋がっており、互いに影響を与えあっています。

私達は、この負の連鎖の鍵を握っているのは「コミュニティの弱体化」であると考えています。この「コミュニティの弱体化」は、それぞれの地域課題の決定的な理由ではないため、放置されがちな課題ですが、地域が抱える様々な問題の背後に必ず存在していると確信しています。

本事業は、こうした負の連鎖（スパイラル）を解消するため、SGDsを推進し、人と人が繋がる「場作り」を通して、ともに課題解決に取り組む地域コミュニティを作り直し、持続可能な地域づくりを実現していこうとするものです。

## 事業内容

「LOVe&BASiC～愛と基～」

●期日：令和2年9月21日（月・祝）

●場所：

①メイン会場：こもればの森

②練り歩き：西郷公園～よこでーろ～こもればの森

●内容：

- ・音楽アーティストによる演奏
- ・街中を元気と明るさで愉しみながら練る歩き
- ・トークセッション
- ・イベント映像の販売

## 事業の成果

今回、コロナ禍で事業を実施したことの効果としては、得られた数値（来場者数、販売売上など）以上に大きいものがあったと考えています。特に、今後もコロナ禍が続くとした場合のwithコロナ対応のイベント実施のノウハウや成功体験を関係者全体で共有することが出来たことだと感じています。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

街頭練り歩きの実施方法について改善していく（ルート、安全確保など）

### 3 予算執行

多少の変更があった。

コロナ禍での開催が初めてだったことで想定通りいかない部分があったため

### 4 今後の展望

市民グループであり、事務局運営に課題がある為、継続できる体制づくりを行うことも視野に入れていきたい。

### 5 その他

コロナ禍でも感染者を出さずに無事事業を実施・成功を納めたことは、評価できると思う。



### 団体情報

<団体名>きりしまみぞバル

<代表者>大坪 元気

<設立日>平成30年4月1日

<会員数>10人

<主な活動>

●毎月の定例ミーティング●「ヨカバイチ」開催(平成30年3月11日)●「セゴドンデナイト」開催(平成30年5月23日)●「LOVe&BASiC2018」開催(平成30年9月15日)●「LOVe&BASiC2019」開催(令和元年9月15日)●「ミコトデナイト」開催(令和元年10月5日)※クラウドファンディングで資金調達実施。その他各種イベントに参加

<連絡先>

所在地 〒899-6404 霧島市溝辺町麓391-5

TEL 0995-58-2206

# New style WILK INN FES ! 2020 in 霧島

<WILK INN FES ! 2020 in 霧島実行委員会>

事業費 : 785,000円 市補助金 : 392,000円

## 目 的 (背景・課題)

本イベントは「僕らの街は、僕らで創る。」をテーマに、鹿児島県内で活動する地元アーティストと県外からのアーティストを招いて行なう音楽フェスである。音楽と同じく鹿児島の食や文化を発信し、子供から大人まで体験することが出来るイベントである。過去6回は鹿児島市桜島での開催だったが、7回目の今回からは鹿児島市に留まらず、鹿児島県の様々な地域を移動し開催し、その街に住む人と共に「鹿児島の音楽、食、カルチャー」を発信し、鹿児島県内外からの動員を計る。鹿児島市以外で初となる霧島市での開催することとしている。本イベントを通して霧島市に住むミュージシャンや、霧島市の食や文化が活性化すること、そして霧島市のさらなる認知へ貢献していこうとするものである。本イベントは、2020年5月に予定していたイベントの延期イベントであり、コロナ禍における「新しい生活様式」で行なうイベントである。

## 事業内容

① New Style WALK INN FES! 2020 in 霧島

日時 10月10日(土)開催発表

11月14日(土)1日目: 来場者数242名  
宿泊テント 50張り

11月15日(日)2日目: 来場者数281名

11月30日(月)終了宣言アナウンス

※イベントより2週間、来場者・出演者・関係者に感染者が出なかったことを確認して終了宣言をアナウンス。

## 事業の成果

世界的なコロナ禍の中でも、十分な対策をとって行えば音楽フェスも開催できることを鹿児島、日本全国に発信することが出来た。霧島市下井海岸の素晴らしいロケーションのもと、霧島市のアーティストの発表・活躍の場を提供することにより、これまで以上にその活動や文化振興に寄与することが出来た。また今回は、人数制限もあり霧島市の飲食等の出店に制限を設けたが、会場では「霧島の食・人・音楽」が大きくPRされて鹿児島県内の来場者、テレビ、ラジオ、新聞などメディアはもちろん、SNSで全国へ発信された。テーマを「僕らの街は、僕らで創る」にある通り、一步一步前に進んで、霧島市の住民が主体となったフェスに繋がる様に進んで行きたいと思う。

## 自己評価

### 1 事業効果

期待した効果が上がった。

### 2 改善すべき課題

特に無かった。

### 3 予算執行

多少の変更があった。

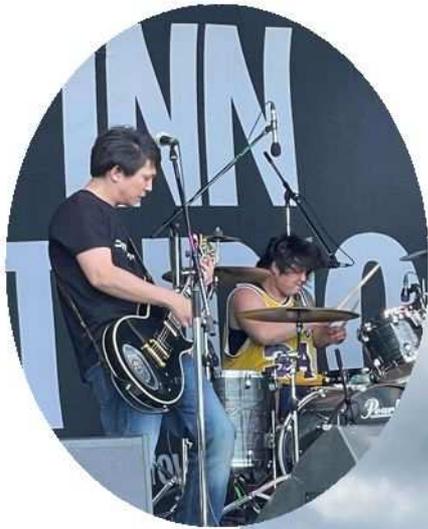
コロナ禍でのイベント開催ということで、出来る限りの対策と準備をしてきましたが、予定通り行かない事は多数あった。

### 4 今後の展望

当初は中止も考えていたが、これからの鹿児島、霧島市、地方に住む人たちの明日の希望に繋がる様なイベントになるのであれば開催を決意し実施した。これからのテーマも「僕らの街は、僕らで創る」にある通り、一步一步前に進んで、霧島市の住民が主体となったフェスに繋がるように進んで行きたいと思う。

### 5 その他

制限の中でも楽しめる野外音楽イベントが安全に実施できたことは、鹿児島に限らず、日本全国的にも大変貴重なサンプルになったと思う。



### 団体情報

<団体名>WILK INN FES! 2020 in 霧島実行委員会

<代表者>長里 紀亨

<設立日>令和元年8月1日

<会員数>20人

<主な活動>

「WALK INN FES!2020in霧島」の開催準備全般

「WALK INN FES!」は、2014年から2019年まで年1回の計6回開催。鹿児島市の桜島で開催

<連絡先>

所在地 〒899-4322 霧島市国分中央三丁目12-48 スタジオFUZZ内  
TEL 0995-48-8217

# 故郷八村（フルサトヤムラ）活性化事業

<アイラブ故郷八村（アイラブフルサトヤムラ）>

事業費：243,168円 市補助金：98,000円

## 目的（背景・課題）

○少子高齢化の進む地区内の活性化  
地区内の住民のほとんどが生まれた時から生活しており、“田舎には何もありません”が口癖です。  
都会に出た事のない人は、故郷の良いところが見えません。我が故郷八村には誇れるものがたくさんあります。  
それを実現し、地区の活性化に繋げ、故郷の里山をいつまでも守っていきます。

## 事業内容

- 1、西南戦争跡地への道標設置。
- 2、地域内に季節の花を植栽。
- 3、牧野医院跡地の整備。花の植栽。医院跡の道標設置。
- 4、芋飴、コンニャク、あく巻、そば、豆腐を作り、利息の老人へ配布。
- 5、集落誌の編集。

## 事業の成果

花を植えたり、遺跡、施設の整備をすることにより、普段全く関心を持たなかった人々が、応援をしてくれるようになった。

郷土誌を作成するにあたり、高齢者の方々が、資料を探してくれた。

地域外の出身者が、特に応援をくれた。

## 自己評価

- 1 事業効果  
期待していた以上の効果が上がった。
- 2 改善すべき課題  
特になし。
- 3 予算執行  
大きな変更を余儀なくされた。  
積極的に人を集めることが出来なかった。
- 4 今後の展望  
活動に地域出身者の協力を仰ぐ。  
中山間地域に特化した活動をする。
- 5 その他  
特になし。



⑬1ヶ所目の集合写真



カラモアメを煮詰めたもの



かわぼたみかん



アクマキ、芋アメ、菓室にいくつもないお釜



アクマキ作り



⑬1ヶ所目の工事現場

# あの日のふるさと やむら 八村



自家製のおろし器（左が昔、右が現在の物）



## アイラブ故郷八村

編集 井料 郁

霧島市市民活動支援事業

### 八村の地名（集落内での通称）



### 団体情報

<団体名> アイラブ故郷八村（アイラブふるさとヤマラ）

<代表者> 井料 郁

<設立日> 平成31年4月1日

<会員数> 10人

<主な活動>

八村地区を活性化する事業を実施することにより、当該地区の復興を図ることを目的とする。

<連絡先>

所在地 〒899-4504 霧島市福山町佳例川2224-2

TEL 090-2043-8368

令和2年度  
霧島市市民活動支援事業成果報告書

令和3年10月

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目45番1号  
霧島市役所 市民環境部 市民活動推進課

TEL 0995-64-0988 (直通)

FAX 0995-46-0566

E-mail [simi-katudo@city-kirishima.jp](mailto:simi-katudo@city-kirishima.jp)